

## ちば高校生県議会検討ワーキンググループ（第2回）次第

令和8年2月24日（火）  
議会運営委員会室 本会議散会后

1 開 会

2 開催に向けた協議について

（1）令和8年度ちば高校生県議会の開催日

（2）委員会で協議するテーマ

3 その他

4 閉 会

## 令和8年度の協議テーマ候補

No.	テーマ	小項目	課題
1	千葉の魅力戦略	・千葉に住みたい、働きたい(残りたい)と思うには ・若者が住みたいと思う街づくりとは	進学、就職で県外へ出る若者が多い中で地元に残りたい、残れると思うにはどうしたらよいか 例) 千葉で働きたい産業、企業の魅力、移動手段の充実、街づくり、学校との連携
2	魅力ある千葉県づくりに ついて	・住みやすい千葉県にするためには ・観光客を増やすためには	・千葉県の人口が高止まりとなるがその対策について ・国内、国外からの観光客を増やすことで行政、地域が潤うことになる
3	観光振興	・観光地魅力の強化と発信 ・オーバーツーリズム対策	・千葉県特有の課題を認識したうえで、観光振興策へのアイデア
4	若者が千葉県で「学び・ 働き・暮らし続ける」 環境づくりについて	・学びから仕事、定住までを繋ぐ環境整備 ・若者の挑戦を後押しする仕組みづくり	・進学や就職を機に県外を選択する構造が固定化しつつある ・若者の生活圏に合わせた多様な周知方法が求められている
5	千葉の教育施策	・今困っている事、是正してほしい事 ・どういった授業を受けたいか ・キャリア教育に求めること	当事者の声が県政に反映できているのか
6	学校の校則について	・校則の基礎 ・自分の学校の校則	高校生が自分たちの学校のルールである校則を考える機会が必要である
7	学校のICT化について	・今のデジタル機器の使い勝手について ・改善点、もっと良い環境にするためには	・GIGAスクール構想が勧められているが、現場とのずれを発見する ・現場で使用している生徒からより良い環境を作るためには何が必要か
8	教育改革	・(高校生の立場から)教育の課題点はどのようなものか	・取り組むべき最優先の教育課題
9	若者の政治参加について	・政治を身近に感じられる取り組みについて ・政治が担っている役割(富の再分配や税等)の周知について	税金を何に使われていることが、自分たちのためになっているのか、具体的に協議してもらおう
10	若者の政治参加について	・地方議会に興味を持ってもらうためには ・選挙に参画(投票、立候補)しやすくするためには	・投票率を見ても国政と地方では大きな差があるため、地方自治体に興味を向けってもらうための工夫が必要である ・若者が選挙に参画(投票、立候補)するのにどのようなハードルがあるのか
11	若者の政治参加	投票率向上のために。意見表明の機会を尊重するために	どのような施策や取り組みが必要か
12	若者の政治参加と主権者 教育	・若者の投票行動 ・学校における主権者教育	・若者の投票率は他の世代に比べ低い傾向 ・政治を自分事と考えている若者が少ない
13	主権者教育 社会をより よくする方法について	・市民としてできる事 ・議員としてできる事	・よりよい社会を創るために、どのような手段があり、それをどう使えば効果的なのか ・主権者として、理解や創意工夫が必要である
14	県議会の仕組みについて	・二元代表制 ・議員の仕事	県民にとってなじみのない県議会の仕組みについて、若いうちに理解しておくことが望まれる
15	県政改革	・若者の県政への関心を高めるためには	・若者にとって魅力ある県政とは
16	若者ができる防災対策に ついて	災害に日頃から備えていることは難しいため、 フェーズフリーの観点を活かした取り組みについて	自分が被災者になった時に、行政と自治会と、自分達がそれぞれできることを協議してもらおう
17	安心・安全な暮らしと 防災対策	・学校や地域での防災教育 ・自然災害対策	・高校生が地域防災に関わる機会が限られている ・災害への危機意識が薄れがちで防災訓練が形式的になりやすい
18	若者の視点から考えるこ れからの働き方について	・多様な働き方の選択肢 ・仕事と私生活のバランス	・若者が将来の働き方を具体的にイメージしにくい ・実社会の働き方を体感する場が少ない
19	働き方改革	千葉県内での若者の就労、その継続のために	賃上げ、賃貸住宅費補助、奨学金返還支援など、どのような取り組みが検討できるか
20	エッセンシャルワーカー の人材不足について	・エッセンシャルワーカーの必要性について ・エッセンシャルワーカーを魅力的にする取り組み について	若者がエッセンシャルワーカーを魅力的に感じるためには何が必要なのか協議してもらおう
21	若者が主体的となって取 り組む環境対策について	・身近な環境問題への関心 ・行動につながる環境教育	・環境問題を自分事として捉えにくい ・行動に移す動機付けが弱い
22	環境問題と持続可能な千 葉県づくり	・地球温暖化・気候変動への対応 ・高校生ができる環境行動	・環境問題は身近に感じにくく、行動につながりにくい ・プラスチックごみや食品ロスなど
23	多様性について	・男女共同参画社会 ・性的少数者	これからの社会に必要な不可欠な多様性について、若い世代が広い視野で考える必要がある
24	ジェンダー平等の取り組 み	・性暴力の根絶 (・妊娠出産育児を男女でともに乗り越える)	・性暴力は性的自己決定権を侵害する重大な人権侵害である ・盗撮や痴漢、性的ないじめを無くすための取り組みが必要である
25	多様性の尊重、ジェン ダー平等の推進について	高校生の視点から課題を洗い出すこと	学校や社会生活上、感じる多様性の尊重やジェンダー平等の推進について、リアルな実態と今後の展望について
26	差別のない社会づくり	・外国人との共生 (・障害者との共生)	・在留外国人やインバウンドが増加 ・外国人に対する偏見や嫌悪の表明が見られる ・人口減少の中で、共生を進める取組が求められる